

平成26年度

平成26年10月31日

学 校 だ よ り

夢に近づけ 今、鴨居がいいかも！

横浜市立鴨居小学校

電話 045(931)2062

<http://www.educity.yokohama.jp/sch/es/kamoi/>

継続は力なり

校長 大森 英司

台風一過の澄んだ青空の向こうに久しぶりに見えた富士山は黒かったが、一夜明けると一転して、真っ白に雪をかぶっていた。どちらも心を奪われるが、正直なところ白い富士山が魅力的か。校歌に「富士丹沢をはるかに望み」とあるが、鴨居小の児童が富士を仰ぎ見ると同時に、富士は鴨居小の児童を見守り続けてくれているのだろうと思う。

校歌は、1966年（昭和41年）、現在の地に校舎が移転した時に制定されたそうだが、その前の何代かの校舎からも富士を望めたに違いない。鴨居小が穏やかで、それでいて活力にあふれているのも、1874年（明治7年）創立以来140年間変わることなく見守ってくれた富士のおかげかもしれない。

先日、6年生は日産スタジアムで行われた市の体育大会に参加し、競技、演技、応援に全力を尽くした。長い見学中には反省すべき点もあったが、卒業までに取り返してくれるだろう。

見どころはいくつかあるが、児童が一番燃えるのは長縄跳びだ。プログラムに、「めざせ最高記録」とあるように、早くから練習に練習を重ねて記録を伸ばし、驚くほどのスピードで跳べるようになるのだが、当日はさらに集中力を高め一致団結して、最高記録を目指して全力を尽くす。

縄跳びが苦手な児童もいる。長縄跳びは団体競技であり、縄を引っ掛けてしまうと大きなロスになるので、みんなよく努力する。ある児童は、毎日休み時間になると校庭に出て、担任が縄を回して練習していたが、タイミングがうまく合わず、どうしても跳べない。だが、本人も担任もあきらめず来る日も来る日も練習を続け、友達も一緒になって練習した。なかなか跳べなかったが、ある日、クラスの練習に入ると、もの見事に跳んだ。拍手が沸いた。本人と担任の努力、そして、友達のかだ、

また、体育大会の翌日に懸命に練習しているクラスがあった。聞けば、本番当日思うような結果が出ず、子どもたちがそれまでの取り組みを反省し、再度挑戦したいということで、始めた練習だそう。

140周年に向けての鴨居囃子の取り組みについては、前回書いた。今の時点では発表がどうなるかわからないが、この取り組みは成功だったと思っている。指導して下さった芸能保存会の方から、「鴨居囃子が出来上がってきたのはうれしいけれど、子どもたちとお別れだと思うと寂しい。」という言葉聞いたからだ。こんな周囲の思いの積み重ねが、140年もの長い間鴨居小学校を支えてきたのだと思う。

これからも、一人ひとりの努力と、様々な人の

鴨居小への思いが積み重なって、鴨居小をさらに充実したものにしてくれるだろう。富士には変わらず、見守っていてほしい。

